

令和6年度 農作業事故防止中央推進会議 開催日程

「農作業での熱中症を防ぐには」

I 趣 旨

近年、夏期の猛暑が連続していることもあり、農業における熱中症対策の重要性が増大している。農作業での熱中症による死亡者数は年間30人程度に達しており、これは他の産業分野全雇用労働者の熱中症死亡者数に匹敵するまでの数字となっている。

このような状況に対し、農業分野での熱中症対策は、他産業に比べて必ずしも充実しているとは言い難いのが現状である。加えて、収穫や防除など、どのような炎熱下であっても時機を逸した作業とすることは出来ないという農業特有の事情もある。このため、我が国全般の熱中症対策に関する情報共有を図るとともに、農業における熱中症対策の高度化に資するため、主として農作業事故対策の関係者による本推進会議を開催するものとする。

II 日 時 令和7年3月14日（金） 9：30～12：30

III 場 所 馬事畜産会館 2階会議室 （東京都中央区新川2-6-16）

IV 日 程

- | | | |
|--------------------------------|---|-------------|
| 1 挨拶 | 主催者、農林水産省 | 9:30～ 9:45 |
| 2 議 事 | （議題名は仮題） | |
| (1) 農業の熱中症被害と農林水産省の取組み | （農林水産省担当官） | 9:45～10:05 |
| (2) 医療分野における熱中症救命救急への取組み | （帝京大学医学部附属病院 高度救命救急センター 副センター長
日本救急医学会 熱中症および低体温症に関する委員会 委員長 神田 潤 氏） | 10:05～10:35 |
| (3) 熱中症対策アイテムの農作業への利用評価 | （東京農業大学 国際食料情報学部 教授 半杭 真一 氏） | 10:35～11:05 |
| | < 休 憩 > | 11:05～11:15 |
| (4) 産業現場における熱中症対策の現状と課題 | （労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所化学物質情報管理研究センター
ばく露評価研究部長 齊藤 宏之 氏） | 11:15～11:45 |
| (5) 熱中症対策アイテムの農業機械士によるモニター調査ほか | （一般社団法人日本農業機械化協会 指導部長 東城 清秀） | 11:45～12:10 |
| (6) 富山県の農業機械士活動状況等 | （富山県農業機械士会会長 青木 靖浩 氏） | 12:10～12:30 |